



よく生きよ

大仙市立大曲中学校  
2年学年通信 No. 29  
令和2年10月15日

## 合唱コンクールを通して... その2

今回の合唱コンクールを通して、学んだことはたくさんあったと思います。  
前号に引き続き、振り返りの中からいくつか紹介します。

### 7組 彩稀 さん

練習の最初のあたりに自分たちの合唱を聞いて、伸びしろがありすぎてびっくりしました。けれど、改善点をみんなで見つけ、その目標に向けて合唱練習に取り組むことができました。一つ直せば、もう一つが見つかり、あきらめそうになったけれど、自分のせいでクラスの合唱、今年の合唱コンクールが成功できなくなったらと思うと、一生懸命頑張ることができました。本番はみんなと先生との気持ちを合わせて合唱するだけだったので、最後は全力で歌い続けることができました。みんながいたから7組の合唱、合唱コンクールが成功できたのではないかと思います。笑顔で終わったのでよかったです。

### 1組 華秀 さん

夏休み期間中から伴奏の練習を始めましたが、合唱コンクール当日まではあっという間だったように感じます。歌が少しでもよくなるようにと放課後練習では各パート毎の練習(音取り)を一緒になって頑張りました。自分自身、実力不足で弾けないところは最後までありましたが、今できる技術を使ってよりよい演奏ができるようにと努力しました。また、普段はあまりやることのない、指揮を見て弾くということに少々、苦戦しましたが、練習、本番と指揮者と息を合わせて伴奏することができたと思います。本番、伴奏が速くなってしまって、歌を置いてしまったのは本当に申し訳なかったのですが、歌の方は音、リズムとともに割ととれていたもので、よかったです。来年もまた、弾く機会があったら今年のことを生かさせたらと思います。

### 4組 若葉 さん

正直、最初は、他の曲で歌いたかったと思っていました。でも、日々の練習などで、今はこの曲でよかったと思っています。毎日、放課後や休み時間に歌練があって大変でした。私はソプラノパートで、いつも声が出ていない、笑顔が足りないと言われていたけれど、パート練習などを通して、よりよい合唱になって、ほめられたときは嬉しかったです。だから、同じパートで一つにならないと全体ではゴチャゴチャしちゃうんだと分かって、協力することは大切だと改めて知りました。これからも4組で協力していきたいです。

### 6組 陽由 さん

私は「このクラスで絶対、最優秀賞をとる」という気持ちで練習、本番に挑みました。音楽の先生やパートリーダー、指揮者や伴奏者に言われた、気を付ける部分やアドバイスを忘れず、一回一回の練習に取り組みました。私はアルトだったので、ソプラノとのハーモニーを奏でながら歌うことを意識しました。本番では緊張したけれど、練習してきたことを十分に発揮して、審査員や見に来てくれた人たちに6組の「心の瞳」を届けることができました。声量も今までの練習以上に出せてよかったです。

裏面には合唱コンクール前のクラスの様子、合唱コンクールの表情を紹介しています